部　会　報　告

CONEXPO LATINAMERICA　視察報告

標準部会

1. はじめに

ISO/TC 195/SC 1 使節団一行は，2015 年 10 月 23 日（金）及び 24 日（土）の 2 日間，チリ・サンティアゴで開催されたラテンアメリカ最大規模の国際建機展示会 CONEXPO LATINAMERICA の視察を行ったので，以下にその概要につき報告する。

2. 展示会概要

［CONEXPO LATINAMERICA］
主催者：Association of Equipment Manufacturers（AEM）［米国機器工業会］
開催期間：2015 年 10 月 21 日（水）～ 24 日（土）
開催都市：チリ共和国首都州サンティアゴ市
開催会場：エスパシオ リエスコ イベント & コンベンションセンター
会場面積：約 167,000 m^2
出展社数：世界各国から 300 社
来場者数：90 ヶ国から約 326,000 人（入場登録者数）
入場料：有料　7,000 チリペソ（10 米ドル）（当日）／無料（前日迄登録）
その他：各種セミナー開催　70,000 チリペソ（100 米ドル）（当日）／ 60,000 チリペソ（85 米ドル）（前日迄登録）
［同時開催 Edifica 及び ExpoHormigón］
出展社数：計 1,000 社以上
来場者数：計 35,000 人以上
Edifica：住宅及び商業施設用建設材料・内装用品展
ExpoHormigón：モルタル及びコンクリートを主体とする各種建設材料展

図―1 に会場の所在地を示す。エスパシオ リエスコ イベント & コンベンションセンターは，ISO/TC 195 国際会議が行われたアトンホテル エル ボスケから北へ約 2.5 km（タクシーで約 10 分），サンティアゴ国際空港から東へ約 6 km（同約 20 分）の位置にある。

写真―1 に会場入口の様子を示す。

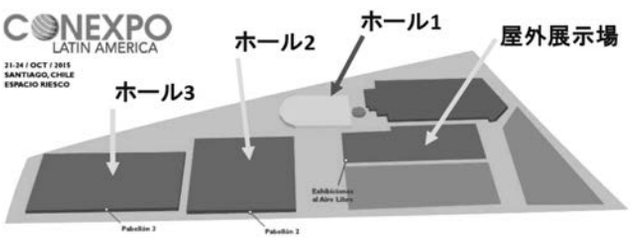
写真―1　展示会場 エスパシオ リエスコ 入口

3. 主な展示品

米国で 3 年毎に開催される CONEXPO/CON AGG と同様，自走式・定置式建設機械，アタッチメント，アフターマーケットパーツ，プラント，工具，測量機器に加え，建設材料及び内装用品等，建設分野に関する製品及び技術が広く展示されていた。

図―1　CONEXPO LATINAMERICA 会場所在地

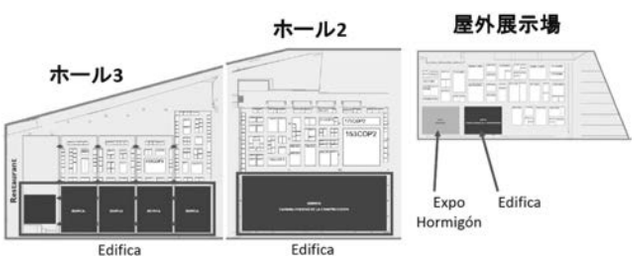
図―２に会場の全体レイアウトを示す。ホール１～3，屋外展示場及びコンベンションセンター（入場登録窓口・事務局本部など）からなる。



図―２　エスパシオ リエスコ イベント＆コンベンションセンター 全体レイアウト

それぞれの展示場には大きなテーマに沿って製品が配置され，来場者はパンフレットに記載されたコード又は会社名で，目的とするブースの所在地を確認できる（同一会社で屋外・屋内両方の展示もあり）。欧米の国際建機展に比べればコンパクトな敷地面積であり，2日間で全てを見て回ることも困難ではなかった。

図―３にホール2，ホール３及び屋外展示場の詳細レイアウトを示す。CONEXPO LATINAMERICA ブースと並んで Edifica 及び ExpoHormigón のブースが配置され，ホール１は Edifica 及び ExpoHormigón のみの展示となっていた。



図―３　ホール２，ホール３及び屋外展示場 詳細レイアウト

後出の**写真**―２～７にこれら同時開催展示の様子を示す。

4. 会場の様子

屋外には土工機械（油圧ショベル，ローラ等），建設用機械及び装置（コンクリート工事用機械，道路建設及び保守用機器，自走式破砕機），クレーン，フォークリフト及び高所作業車などが多数展示され，ホール内にもモバイルミキサや道路維持作業車などが展示されていた。日本で知られている様な米・欧・日の大手メーカが殆ど見当らず，南米・中国・イタリア等の中堅メーカが目立った他，トルコ，ベルギー，ニュージーランド等，世界各国から出展していた。大型鉱山機械やプラントなどは，パネル展示のみというブースも多く見られた。

また，同時開催の Edifica では，ソーラー発電システムなど住宅用設備を屋内で展示しており（**写真**―2，3），ExpoHormigón では，屋外でコンクリート製品の展示やクレーンを用いた吊り上げの実演，安全具及び命綱を装着した観客が垂直に立てた高さ５m 程のコンクリート壁をクライミングするアトラクションなどが行われていたのも特徴的であった（**写真**―４～７）。

写真―２　Edifica 展示（1）

写真―３　Edifica 展示（2）

写真―４　ExpoHormigón 実演展示（1）

写真―５　ExpoHormigón 実演展示（2）

写真―６　ExpoHormigón 実演展示（3）

写真―７　ExpoHormigón 実演展示（4）

米国の CONEXPO で見られるような，小型建機が走り回る派手なデモンストレーションこそなかったが，屋外ステージで現地の人気バンド（?）が癒し系の楽曲を演奏するなど（**写真―８**），いかにもラテンアメリカらしく，また，タワークレーンや自走式クレーンが屹立する会場近辺の上空をヘリコプターだけでなく

写真―８　屋外ステージでのバンド演奏

写真―９　グライダーを曳いて会場上空を飛び回る小型飛行機

グライダーを曳いた小型飛行機が飛び回るなど，独特の演出が見られた（**写真―９**）。

以下に主な出展機械及びメーカを示す。グラビアページ（P.3 ～ 10）も参照されたい。

4.1　土工機械（ISO/TC 127）

・油圧ショベル

Liugong，SDLG（中国），Doosan Bobcat, Hyundai（韓国），Hidromek（トルコ），Atlas，Wacker Neuson（ドイツ），Volvo（スウェーデン）

・ホイールローダ

Liugong，SDLG，Doosan，Hyundai

・ブルドーザ

Dressta（中国），Bobcat

・グレーダ

Hidromek，Bobcat

・ダンパ

Doosan，Piquersa（スペイン）

・ローラ

Atlas Copco（スウェーデン），Bomag（ドイツ），Wacker Neuson，Doosan，SDLG

・**バックホウローダ**
Hyundai，Hidromek，MST（トルコ），New Holland（アメリカ）
・**スキッドステアローダ**
Volvo，Hyundai，New Holland，Wacker Neuson，Bobcat
・**コンパクトトラックローダ**
Bobcat
・**ワークツールアタッチメント**
Xcentric Ripper（スペイン），Cangini，MB crusher，Trevi Benne（イタリア），Fecon，Indeco（アメリカ）

4.2　建設用機械及び装置（ISO/TC 195）

4.2.1　コンクリート工事用機械及び装置（SC 1）

・**コンクリートポンプ**
Putzmeister（ドイツ），Reed（アメリカ）
・**バッチャプラント**
Imer（イタリア），McLanahan（アメリカ）
・**コンクリートミキサ**
Deper（アルゼンチン），Lemaco（チリ），Sirl（ポルトガル）
・**モバイルミキサ**
Carmix，Fiori（イタリア）
・**パワートロウェル**
Lemaco，Socomaq（チリ），Allen，MultiQuip（アメリカ），Wacker Neuson，Masterpac（ドイツ）
・**スクリード**
MultiQuip，Somero（アメリカ）
・**コンクリートバイブレータ**
Northrock（アメリカ），Deper
・**コンクリート吹付機**
NORMET（フィンランド）
・**打設ブーム**
SINOCOMACO（不明）

4.2.2　道路建設及び維持用機械（WG 5）／自走式道路建設用機械（WG 9）

・**アスファルトペーバ／フィニッシャ**
Carlson，Gomaco，Leeboy，Rosco（アメリカ），Volvo
・**プラント**
Astec（アメリカ）
・**路盤材散布車**
Bergkamp，Leeboy，Rayner，Roadtec，Rosco，Sealmaster（アメリカ），Bitumix（チリ）
・**ランマ・振動プレート**
Wacker Neuson，Bomag（ドイツ），Doosan，Lemaco，Fujibull，Emaresa，Vielco（チリ），三笠産業（日本），Compactor（中国？），Weber（ニュージーランド）
・**路面清掃車**
Brocebroom（アメリカ）

4.2.3　骨材処理用機械（WG 8）

・**自走式破砕機**
Invercas（チリ），Maximus，Tesab（イギリス），McCloskey（アメリカ），Rubble Master（オーストリア），Keestrack（ベルギー）
・**定置式破砕機**
Técnicas Hidráulicas（スペイン），Weir Minerals（イギリス），Eagle Crusher（アメリカ）

4.3　クレーン（ISO/TC 96）

・**自走式クレーン**
タダノ，Fassi（イタリア），Link-Belt，Manitowoc（アメリカ）
・**定置式クレーン**
Fassi

4.4　産業車両（ISO/TC 110）

・**フォークリフト**
Hyundai，トヨタ，ニチユ（日本），Manitou，Navigator（アメリカ）
・**テレハンドラ**
JLG，Manitou，Xtreme（アメリカ），Bobcat，MST（トルコ）

4.5　昇降式作業台（ISO/TC 214）

・**高所作業車**
Haulotte（フランス），Socage（イタリア），Manitou，JLG，Snorkel（アメリカ）

5.　おわりに

ラテンアメリカ初の開催らしく，展示面積・出展台数など欧米の国際建機展に比べれば規模は小さいものの，新興市場に参入しようとする海外メーカの意欲が感じられた。他の建機展では見られないユニークな製品も出展されており，とくに平日早朝は観客も少なく，運転席に搭乗して仔細に観察することもできた。展示場内の看板類はほぼスペイン語で書かれていたが，主要なブースには英語を話せる解説員が付いており，操作方法等の説明を受けることができた。天候にも恵ま

れ，2日間を通じて有意義な視察となった。

なお，今回の成功を受け，次回ペルー国リマでCONEXPO LATINAMERICA SEMINARSの開催が2016年10月10日～11日に予定されている。

6. その他

出張先での移動手段は，安全性・効率・価格のバランスで選択するが，使節団が宿泊したアトンホテルエル ボスケから展示会場エスパシオ リエスコへ至るには，サン・クリストバルの丘を越える山道，丘の地下を貫通するトンネル，又は東側へ大きく迂回するハイウェイのいずれかを通らねばならない（前出の**図―1**参照）。バス及び徒歩では時間がかかり過ぎ，また，治安面でのリスクを回避する為，現地ガイドの推奨に従いリムジン（タクシー）を利用することとした（**写真―10，11**）。

初日に通ったサン・クリストバルトンネルは慢性的に渋滞する経路らしく，最短距離ながら片道約30分を要した。翌日の運転手は「こちらの方が早く着く」と迂回路のハイウェイを通り，確かに渋滞はしない代わり倍近い距離を走った為か，或いは運転士の時給や車種の違いからか（初日の運転手は英語が通じず，多人数乗車のミニバンだった）前日より数割増の料金を請求され，所要時間は前日と大して変わらなかった。もっとも，彼我の安全レベルの差を考えれば，両日とも無事に往還できたことを良しとすべきかもしれない。

写真―11　リムジン（タクシー）（2日目）

写真―10　リムジン（タクシー）（1日目）

写真―12　会場全景

JCMA